

ユニバーサルデザインってな～に？

ユニバーサルデザインとは、年齢、性別、国籍などに関係なく、すべての人が使いやすいように、モノやかたちをつくることです。

ユニバーサルデザインには、アメリカのロナルド・メイスさんを中心とするグループがまとめた、「ユニバーサルデザインの7原則」という基本的な考え方があります。

まちを見渡してみると、ユニバーサルデザインがたくさんあるね。



4 分別式ゴミ箱

イラストや投入口の形状により、捨てる場所がすぐにわかります。



必要な情報がすぐに理解できる認知性

5 駅のホームドア

電車のドアと連動して自動で開閉することで、転落事故を防ぎます。



危険や思わぬ結果につながらない安全性

6 自動販売機

最上段の商品に対応したボタンが低い位置にあることで、だれでも購入できます。



無理なく少ない力で、案に使える効率性

7 駅の改札口

幅の広い改札口はだれもが余裕をもって、通行できます。



十分な広さが確保されている快適性

1 自動ドア

手などをかわすに開閉でき、だれもが簡単に利用できます。



だれもが利用できる公平性

2 水飲み場

異なる高さにすることで、自分に合った方を選ぶことができます。



利用者に応じた使い方ができる柔軟性

3 案内板

絵や多くの言語を使って表すことでわかりやすくなります。



使い方がすぐにわかる、単純性と直感性

